

## 【Ⅱコリント人への手紙 2章】

「**私達は～キリストの香りです。**」

(Ⅱコリント2:15)

パウロはコリントで伝道し、教会を建てますが、エペソに行ってから、コリントの教会に、叱責や涙をもって手紙を書いています。それは、真の悔い改めを導き、喜びに満たされるようにとの牧会的な配慮からで、あふれるばかりの愛を知っていただきたく、彼らがすべてのことにおいて**従順**であるかどうかを試すためでした。(ヘブル5:7～9)

違反者を戒めないことは問題です。しかし、違反を悔い改めた者に対しては赦すべきで、また慰めも必要です。それは悔い改めた者が、悲しみと失意に陥らないためです。「サタンの策略」と書かれていますが、悔い改めた者を赦さないことや、パウロと教会間の中を裂いたり、噂話、作り話、批判中傷といった分裂分派の霊などに気を付けていきたいものです。パウロはコリントに行く計画を取りやめますが、これを批判されたり、その弁解をしたり、非常に苦難の中にいました。

14節「**しかし、神に感謝します。**」と言っています。私達も様々な苦難に遭うことがあるでしょう。その時に、失望したり、信仰を失うのではなく、「しかし、神に感謝します！」と立ち上がりましょう。なぜなら、イエス様を信じている人は、キリストによる勝利の行列に加えられているからです。私たちは**感謝の戦士であり、賛美隊の一員**です！

ローマの凱旋軍は、戦争で捕虜にした人を連れてきて、香をまいて将軍や兵士が行進するのです。イエス様の弟子にされたパウロは弱かろうと、心配があろうと、凱旋軍の行進にあずかるのです。それは、パウロたちイエス・キリストを信じている人々が、福音を伝えることによっていたる所で、キリストを知る知識のかおりを放ってくださるからだと言っています。私たちも、どこでも、生けるキリストの証しをして、賛美を捧げ、神の言葉を語り、神に聞き従い、愛し合ってキリストの香りを放つものとなりましょう。証し人こそ、救われる人々の中でも、滅びる人々の中でも、神の前にかぐわしい**キリストのかおり**なのです。花は虫の好みそうなおいを出して、虫を呼んでいます。実や種の出来るのを助けてもらうためですが、私たちはキリストの香りを放つために聖霊を求め、聖霊の賜物を用い、聖霊の実を結んで、すべての人が救われるために福音を伝えてゆきましょう。「神は、すべての人が救われて、真理を知るようになるのを望んでおられます。」(Iテモテ2:4)

\* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意下さい。  
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:ダニエル大重

# SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2012.4.22 No.680

今年のみ言葉 歴代誌Ⅱ 20:22

**我らが喜びの声、賛美の声をあげ始めたとき、  
主は伏兵を設けて～彼らは打ち負かされた。**



主の十字架クリスチャンセンター (TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://astone-blog.jp/tlcccfrh/>